平成28年度(2016年度)

多機能型施設(生活介護事業・自立訓練(生活訓練)事業) 横浜市中山みどり園 事業報告書

1. 在籍人数(各月1日)現在

_	·	<u> </u>	<u>シリエ</u>												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
Ī		男性	32	32	32	33	33	33	33	33	33	33	33	33	32.8
	横浜市	女性	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13.3
		小計	46	46	46	47	46	46	46	46	46	46	46	46	46.1

2. 入所·退所状況

	7 171 2017								
	定員	入所	退所	理由		定員	入所	退所	理由
4月	40	1		新卒受け入れ	10月	40			
5月	40				11月	40			
6月	40	1		在宅(自アシより	12月	40			
7月	40		1	本人希望	1月	40			
8月	40				2月	40			
9月	40				3月	40		1	法人内他事業所へ
					計	480	2	2	

3. 利用者の年齢及び性別状況(3月31日現在)

		エカリ1人 ルしくひ		
年 齢	男性	女性	計	構成比(%)
15~19歳	0	1	1	2.2 %
20~29歳	11	2	13	28.3 %
30~39歳	9	3	12	26.1 %
40~49歳	12	5	17	37.0 %
50~59歳	0	0	0	0.0 %
60~64歳	0	0	0	0.0 %
65~69歳	1	0	1	2.2 %
70~79歳	0	2	2	4.3 %
計	33	13	46	100.0 %

平均年齢

男性	35.8才		
女性	40.8才	全体	37.2才

4. 療育手帳・身障手帳・障がい支援区分

(1) 療育手帳

	男性	女性	計	構成比(%)
A 1	21	6	27	58.7 %
A 2	6	6	12	26.1 %
B 1	3	1	4	8.7 %
B 2	0	0	0	0.0 %
無し	3	0	3	6.5 %
計	33	13	46	100.0 %

(2) 身障手帳

	男性	女性
1級	2	2
2級	3	0
2級 3級	0	0
4級	0	1
5級	1	1
5級 6級 計	0	0
計	6	4

(3) 障がい支援区分 (3月31日現在)

	男性	女性	計	構成比(%)
区分1	0	0	0	0.0 %
区分2	0	0	0	0.0 %
区分3	2	1	3	6.5 %
区分4	4	1	5	10.9 %
区分5	6	5	11	23.9 %
区分6	21	6	27	58.7 %
計	33	13	46	100.0 %

(4) 精神保健福祉手帳

	男性	女性							
1級	2	0							
2級	1	0							
3級	0	0							
計	3	0							

待機者(2017年3月 現在) 0 名

欠 員(2017年3月 現在) 0 名

5. 在籍期間の状況 (3月31日現在)

	1年未満	1~5年未満	5~10年未満	10~15年未満	15~20年未満	20年以上	計
男性	2 名	5 名	9 名	1 名	8 名	8 名	33 名
女性	1 名	3 名	3 名	1 名	2 名	3 名	13 名
計	3 名	8 名	12 名	2 名	10 名	11 名	46 名

6. 通所(活動)及び利用状況

	通所 日数	在籍 人数	通所(利用) 延人数	通所(利用 (%)])率		通所 日数	在籍 人数	通所(利用) 延人数	通所(利用)率 (%)
4月	22	46	818	93.0	%	10月	22	46	832	94.5 %
5月	21	46	808	96.2	%	11月	22	46	820	93.2 %
6月	24	46	931	97.0	%	12月	21	46	789	93.9 %
7月	22	47	846	96.1	%	1月	20	46	757	94.6 %
8月	21	46	770	91.7	%	2月	22	46	838	95.2 %
9月	22	46	816	92.7	%	3月	24	46	933	97.2 %
						†	263	46	9,958	94.7 %
					前年	年度	263	43	9,163	87.1 %

7. 重点課題の結果

- 〇人権の尊重とインフォームドコンセントを大切にした利用者さん主体の支援を行います。
 - → 法人の人権ツール、横浜オンブズマンネットワークのオンブズマン活動など、人権擁護につながる 取り組みを積極的に行いました。
- 〇利用者さんが地域で安心して暮らせるよう各活動を通じて様々な機会を提供します。
 - → 全体活動において「見る」・「味わう」・「動く」というテーマで、様々な活動を企画し、経験の機会を提供しました。
- サービスの向上を図り、利用者さん・ご家族がより安心して通える施設づくりを行います。
 - → 日々の活動の様子について、連絡ノートや送迎時での情報共有などを通して、適宜ご家族とのコミュニケー ションを積極的に図りました。
 - → 家族教室を通して、施設の状況や支援の方向をお伝えする機会を設け、ご家族からの要望等を 伺いました。
- ○質の高い職員育成をはかり、サービスの質の向上に努めます。
 - → 目標管理シートによって、自己目標を設定し各々の目標を確認し、リーダー、施設長による面接を行いました。

○地域との共生を目指します。

- → 3ホーム(ナトゥールハウス、高田西グリーンハイム、フラット久末)に加え、セトルホームつづきが4月から開所し4ホームのバックアップ施設として、全体職員会議の中で情報共有を図っています。
- → 緑区社会福祉協議会が主催する、「福祉施設等分科会」や「移動支援センター推進会議」に積極的に に参加し、地域の社会資源として情報交換を行いました。
- → 緑区自立支援協議会において、緑区における地域課題についての話し合いに積極的に参加しました。

OSWOT分析に基づいて、弱みを強みに変えていく取り組を行い、さらに強みをよりPRすることで「選ばれる事業所」を目指します。

- → 館内の衛生や環境整備を図り、明るい雰囲気の施設づくりに取り組みました。
- → 社協やみどり園ホームページなど、ボランティア募集に力を入れ、新たなボランティアさんの開拓を行い 増員することができました。

8. 活動・行事報告(実習等含む)

<実習受け入れ>

(1)養護学校等

「リス	15000000000000000000000000000000000000	
	所 属	人数
6月	みどり養護学校	1名
10月	みどり養護学校	4名
11月	みどり養護学校	1名
2月	横浜発達相談室	1名

(2)福祉養成校等

	学校名	人数
8月	田園調布学園大学	1名
1月	聖セシリア短期大学	2名
2月	聖セシリア短期大学	2名

(3)その他

	内容				
4月	横浜市新職員福祉実習				
10月	横浜市(技能職員)福祉活動実習				
12月	霧が丘学園 福祉体験学習	3名			

<行事報告> 毎月開催 講師(音楽、リトミック、ヨガ、調理、ダンス、創作)

<u>1</u>								
	施設行事	その他		施設行事				
4月	ウエルカムセレモニー	体重測定	10月	園外宿泊体験(千葉)1回、園内泊1回				
5月	園内宿泊2回	体重測定	11月	外出(ロマンスカーで箱根)、園内泊2回				
6月	園内宿泊2回・外出(原鉄道博物館)	体重測定	12月	忘年会、園内泊2回				
7月	園内宿泊2回・外出(都筑プール・オギノパン)	健康診断	1月	園内泊2回、外出(いちご狩り)				
8月	夏祭り、園内宿泊1回	体重測定	2月	園内泊2回				
9月	園外宿泊(千葉)2回	体重測定	3月					

9. ボランティア参加状況

	日常活動	行事		日常活動	行事
4月	3	0	10月	13	
5月	2	0	11月	13	
6月	8	0	12月	14	4
7月	7	0	1月	10	
8月	20	1	2月	16	
9月	6	2	3月	18	
			計	130	7

10. 研修報告 (1)法人·施設外研修

VI/IA/V	7/公人 池设开明 19							
日程	研修名	会場	参加者					
5月12日 ~13日	甲種防火管理新規講習及び防災管理新規講習新採用職員研修	横浜市研修センター	常勤1名					
7月19日	小規模福祉事業所・医療施設の防災・安全対策	横浜市研修センター	常勤1名					
9月2日	応用行動分析に基づく記録と支援プランの立案について	神奈川県立ひばりが丘学園	常勤1名					
11月8日	かながわ災害福祉広域支援ネットワーク研修会	国際言語文化アカデミア	常勤1名					
2月10日	平成28年度 防災研修会	神奈川県社会福祉会館	常勤1名					
	平成28年度横浜市強度行動障害支援力向上研 修	横浜市技能文化会館	常勤1名					
3月25日	意思決定支援推進全国キャラバンin東京	弁護士会館	常勤1名					

(2)法人·事業所内研修

法人研修

日程	研修名	会場	参加者
4月27日	新採用職員研修	大和市生涯学習センター	常勤2名
4月27日	平成28年度 安全運転委員会	法人会議室	常勤1名
5月10日	新規採用常勤職員研修	大和市生涯学習センター	常勤1名
5月12日	支援者としての私・私の現場・私の地域を変えていこう	大和保健福祉センター	常勤10名
5月20日	新規採用常勤職員研修	大和市生涯学習センター	常勤2名
6月3日	高山塾伝達研修	エヌクラップ	常勤2名
6月16日	第一回苦情受付担当者研修	Nクラップ	常勤1名
7月25日	メンティ研修	相模大野ユニコムプラザ	常勤1名
7月26日	サービス等利用計画と個別支援計画の関係性	大和市勤労福祉会館	常勤1名
8月1日	職員採用スキルアップ研修	相模大野ユニコムプラザ	常勤1名
8月29日	メンティ個別研修	相模大野ユニコムプラザ	常勤2名
11月17日	安全運転講習会	井田日中活動センター	常勤1名、非常勤2名
11月21日 ~25日	マレーシアスタディツアー	マレーシア	常勤1名
12月8日	全体研修		常勤9名
1月13日	マレーシアスタディツアー 実践報告会	法人会議室	常勤2名
1月20日	メンターメンティ―グループ研修	エヌクラップ	常勤2名
2月17日	第6回人権報告会	大和保健福祉センター	常勤5名
2月22日	第二回苦情受付担当者研修	エヌクラップ	常勤2名
2月28日	入職前研修	エヌクラップ	非常勤1名
3月8日	神奈川県「海外技術研修員」報告会	大和市文化創造拠点シリウス	常勤2名

事業所及び独自研修

日程	研修名	会場	参加者
4月14日	自閉症連続研修①	中山みどり園	常勤4名
5月12日	自閉症連続研修②	中山みどり園	常勤3名
6月9日	自閉症連続研修③	中山みどり園	常勤3名
7月14日	自閉症連続研修④	中山みどり園	常勤1名
8月4日	自閉症連続研修⑤	中山みどり園	常勤1名
9月8日	自閉症連続研修⑥	中山みどり園	常勤3名
10月21日	自閉症連続研修⑦	中山みどり園	常勤2名
11月10日	自閉症連続研修⑧	中山みどり園	常勤3名
12月9日	自閉症連続研修⑨	中山みどり園	常勤2名
1月12日	自閉症連続研修⑩	中山みどり園	常勤2名
2月9日	自閉症連続研修①	中山みどり園	常勤1名
3月16日	自閉症連続研修⑫	中山みどり園	常勤1名

11. 防災報告(避難訓練等)

4月15日	地震	避難訓練	10月25日	火災	避難訓練
5月16日	火災	避難訓練	11月21日	地震	避難訓練
6月14日	地震	避難訓練	12月16日	火災	避難訓練
7月6日	火災	避難訓練	1月21日	地震	避難訓練
9月1日	地震	避難訓練、災害時被害状況確認訓練(家族)	2月9日	火災	避難訓練
2日	地辰	災害時被害状況確認訓練(県)	3月9日	地震	避難訓練
			3月17日	地震	起震重体験

12. インシデント報告

〇4月15日(金)

薬の仕分け違いをしてしまい、通常より多い薬を服薬させてしまった。

グループホーム入居が決まって引き継ぎ時期であったこと、薬局での一包化ができていなかったことが原因。

→薬局に一包化をお願いし、間違いなく服薬ができるよう、お薬カレンダーに収めるようにします。

〇4月19日(火)

処方されていた整腸剤をやめてよいと医師に言われていたが、伝言が通じておらず、服薬させてしまった。 →朝・夕のミーティング時での引き継ぎ事項をもれなく伝達するようにします。

〇8月23日(火)

利用者さんの訪問診療の支払金が紛失(1020円)してしまい、探すが見つからず。園で弁償。

→金銭受け渡しの流れについて、整理し、周知徹底。

○9月2日(金)

利用者さんが着替える際に、他の利用者さんの作業エリアに気になるものがあったため、取り上げてしまい取り上げられて驚いた利用者さんが、取り上げた利用者さんに掴み掛り、Tシャツを破り、間に入った職員が手をかみつかれてしまい、けがを負ってしまった。

→着替える場所を変更し、対応。

〇10月14日(金)

園外宿泊から帰宅した利用者さんのかばんの中に他の利用者さんの衣服が入っていた。

→利用者さんのかばんの中に他の利用者さんの荷物が入っていないか、必ず確認することを徹底した。

〇1月24日(火)

散歩中の利用者さんが発作をおこし、膝から崩れ落ち、右ひざと右手人差し指を怪我してしまった。 →歩行時の安全対策を失念してしまったための怪我であり、安全対策を周知徹底した。

〇3月1日(水)

散歩中に近隣の方の庭先にあった植木鉢を割ってしまった。

→利用者さんにとって安心して行動できる散歩コースを選ぶこととする。利用者さんの調子によって職員の 歩行するポジションに注意する。

事故報告

〇7月6日(水)

散歩中の休憩中、川沿いの階段で休憩をしていた利用者さんが、バランスを崩し階段下まで転んでしまった。頭部を怪我し、出血があったため救急搬送した。

→安定して休憩できる場所にて休むようにします。

〇8月19日(金)

利用者さんが階段でつまずき、膝を階段にぶつけてしまった。利用者さんが痛みを訴えていたが、出血をしている患部のみ処置するにとどまってしまい、膝の皿が割れていたことに気付かないままホームに 帰宅させてしまった。

→膝の皿が割れていることは、翌日ホーム職員が通院し、わかった。出血している患部のみにとらわれず 炎症部分がないか、また身体を動かすなどして痛みを訴えることがないか確認を行う。

13. 苦情報告

く要望>

	<u>ェ</u> ノ 支抗	爰の内容	情報提供	送迎	医療	その他	合 計
上半期		56	5	0	12	19	92
下半期	半期 38		18	1	11	8	76
合計		0	18	1	23	27	168
(平成27年度)		124	25	8	64	29	250

14. 利用者満足度調査

第三者評価を受け、結果待ちです。